

## 代表質問

### 新県立博物館に 平和展示を

中村 進一 議員  
(新政みえ/伊勢市選出)



#### 問

第二次世界大戦が終わり68年目を迎え、戦争の恐ろしさを知る人は少なくなり、戦争の悲惨さと平和を守ることの大切さが大変な勢いで風化しています。

新県立博物館については、平成22年6月の一般質問で、戦争を風化させないため、平和の尊さや世界平和について考えるきっかけを提供するための企画展示などを検討するとの答弁がありました。博物館のパンフレットでは平和についての記載が全くありません。県の考えをお聞かせします。

#### 答

新県立博物館でも、平和の尊さについて考える機会や、世界の平和へ目を向けていくきっかけを提供することは重要な課題であると認識しています。

このため、平和といった観点



からの企画展示や博物館講座、ワークショップなどの取り組みの中で、平和の大切さを広く県民に発信していきたいと考えます。

○その他の質問事項  
○新年度予算 ほか

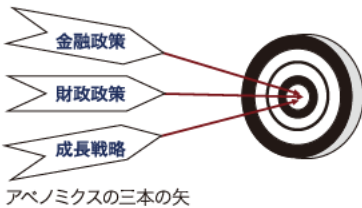
## アベノミクス

中森 博文 議員  
(自民みらい/名張市選出)



#### 問

「アベノミクス」は安倍政権が掲げた経済政策の通称で、大胆な「金融緩和」と機動的な「財政政策」、民間投資を喚起する「成長戦略」を3本の矢にたとえ、これまでの「縮小均衡の分配政策」を「成長と富の創出の好循環」へと転換し、強い経済を取り戻すため、さまざまな具体策が展開されつつあります。



こうした積極的な経済政策は高く評価されるものと考えますが、知事の考えをお聞かせください。

#### 答

新内閣発足以降、円「経済再生」への期待が膨らんでいます。県としても中小企業の活性化、地域雇用の創出につながる「成長戦略」に特に注視しているところですが、地方では「経済再生」がまだ実感の伴うものになっていません。

実体経済の浮上につながる雇用や所得の拡大に向け、スピード感と実行力を持った取り組みを国へ働きかけていきたいと考えます。

○その他の質問事項  
○三重の魅力発信！



## 一般質問

### 鈴木県政の これまでとこれから

奥野 英介 議員  
(鷹山/伊勢市選出)



#### 問

知事就任から約2年が経過し、今なお、知事が国内外を走り続け、三重を宣伝する姿勢は、社会保障などの福祉、教育などの身近な分野や目立ちにくい分野への注力を望む県民の思いと少しずつ乖離していると思います。

短・中・長期的に行政を考え、結果を拙速に求めることなく、じわっと次の世代につながる県政に期待したいと思いましたが、いかがですか。

#### 答

「遷宮」など逃してはならない情報発信には引き続き努力しますが、悪い意味でのパフォーマンスに捉えられないよう、気を引き締めていきます。また、現場を見て学びながらという心を心がけていますので、福祉や教育といった分野については、県民の皆さんとの思いと乖離が出ないよう関係者と手を携えて、思いを込めて取り組んでいきます。

○首都圏営業拠点整備 ほか